

山行報告書

日時	2016年1月23日(土)・24日(日)		天候	曇り時々雪
山名	深入山とスキー・中野冠山			
CL	吉永	参加者	坂本、前澤、阿部、高藤 (総勢5名)	
(コース)	<p><b>いこいの村出発(ワカン装着)14:00~14:25登山口14:30~16:00分岐直下(下山準備)</b></p>			
(コメント)	<p>深入山のワカン登山は雪も多く勉強になった。下りのアンザインしてのアイゼン歩行は、もう少し時間があれば滑落停止など一人ずつ練習したかったけど時間がなく残念だった。一番きつかったのは南登山口の下に広がる運動場の横断だった。膝まである雪の原をアイゼンで歩くのは辛かった。でもその分、いこいの村での生ビールは美味しかった。次の日の駐車場では雪よりの車の掘り出しは大変だった。おまけにレンタカーのチェーンの装着が判らず2時間を費やした。スキーをせずに帰福、小郡ICで下道となり直方に着いたのは午後8時、福岡の人は何時に着いたのだろう。思い出深い山行となった。道路に地吹雪のない時に九重スキーに行きましょうね。</p> <p style="text-align: right;">(CL 吉永)</p> <p>深入山は、深い新雪の中をワカンを履いて登り、アンザインで下山すると言う、滅多に出来ない経験をする事が出来ました。スキーが出来なかったのは少々残念でしたが、雪の中から車を掘り起こして出発する経験は、忘れられない思い出になりそうです。</p> <p style="text-align: right;">(SL 阿部)</p> <p>今シーズンは暖冬で雪がない事で心配されましたが、当日は何十年ぶりの大寒波で本当に行くの?と心配されましたが戸河内町に来るまでは雪はまったくありませんでした。しかし深入山登山口ではそれなりに雪があり3度目の正直、ようやくワカンを使用できることができて大感激です。途中まではトレースがありました。だんだんなくなり順番に先頭にたちラッセルしながら頂上をめざしましたが、タイムリミットで途中で引き返す事になりました。下りはアイゼンを履きザイルでみんなを繋いで下山しました。途中滑落時の講習を受けながら下山、今回はめったにする事のない経験をさせてもらいました。メンバーの皆さんに感謝します。やっぱり雪山は良かったです。</p> <p style="text-align: right;">(記 高藤)</p> <p>二年ぶりの雪山山行です。とても楽しみにしていました。しかし丁度山行の日ぴったりに30年ぶりとも40年ぶりとも言う大寒波が来るとトップニュースでの報道です。どうなるのか中止の連絡が来るのではないかと、それとも昨年みたいにキャンセルしようかとぎりぎりまで迷っての参加でした。行きは高速道路も難なく進め晴れ間もあり、山もスキーも出来るかもと期待しました。が山陰に近くなる頃は雪も横なぶりに降り始めました。宿に着き直ぐ深入山へ出発です。雪質のいい雪山をワカンで進んで行きます。二年ぶりで大丈夫かなと思ってましたがとても楽しく来て良かったと思いました。しかし雪は予報通り降り積もり翌朝は見たこともない銀世界になっていました。まっ白な画用紙の中を走る感じで道が分かりません。こんな経験は出来るものではない貴重な体験だとスキーをせずに帰る慰めみたいに笑いなからの帰路です。</p> <p>宿で前日スキーをしたと言う人の話でこんな雪質のいいスキーは関東でも余りない良かったと話していました。スキー出来なかった事は残念ですがいろんな面で貴重な体験でした。</p> <p>凍り付くような寒さの中2時間も掛け車を出せるようにして頂いて本当に頼もしさを感じました。また来年も行きたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(記 前澤)</p> <p>寒波の襲来予想で行けるかどうか危ぶまれたけれど、初日は雪山の訓練を受けることができました。深い雪を交代でラッセルしながらワカンで登っていききました。アイゼンに切り替えて下山の時にはとても寒くてスムーズにつけることが難しく、指のさがきんじんしてきて、手袋の大切さと日ごろから練習しておくことが大切だと反省しました。二日目、スキーは残念ながらできませんでしたが、雪に埋もれた車を掘り出したり日ごろ経験できないようなことを経験、貴重な山行となりました。豪雪地帯から抜け出ると信じられないようなお天気で、また西に向かううちに少し雪となり吹雪となり、山口県に入るとまた雪国で、一日のうちに体験できた景色の変化がとても印象的でした。参加された皆さんありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(記 坂本)</p>			
費用概算	(交通費/人)	9,000		
	(宿代/人)	9,000	いこいの村ひろしま	
	(経費計/人)	18,000		

